

【取組内容④】 Googleクラスルームと指導者用タブレットを活用した情報伝達(日報・欠席連絡等)の効率化

児童生徒数約730名、教職員数約60名と大規模校であり、前期課程と後期課程では生活時程が異なることから、情報の集約や情報共有に課題があった。様々なGoogleアプリ（クラスルーム、フォーム、スプレッドシート）と指導者用タブレットを活用することで、情報伝達の効率化を図った。

①様々な場面でのGoogleフォームの活用

- ・欠席等連絡での活用：朝の電話対応が激減し、他の業務対応が可能となった。また、インフルエンザ等の欠席状況を朝の早い段階で把握することが可能となり、感染拡大防止対策を早目に講ずることが可能となった。
- ・下校手段の連絡での活用：インフルエンザ等の蔓延のため、急遽児童を下校させることになった際に、下校手段を保護者からフォームで回答してもらった。従来は、電話連絡等で対応していたため、大幅な業務改善につながった。
- ・学校行事に対するアンケートに活用：意見を瞬時に集約できることから、アンケートをとりやすくなり、学校行事を検討する際に参考にしたり、保護者の教育活動への参画意識を高めることに寄与した。

1から9年生が合同で、2日間の体育祭開催でしたが、「実施方法」はどうでしたか。
156件の回答

